



霧が丘

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kirigaoka/>
E-mail:y3kiriga@edu.city.yokohama.jp

横浜市立小中一貫校
霧が丘小中学校（小学校）
平成 27 年度通算第 215 号
平成 27 年 7 月 17 日発行
児童数 660 学級数 22



夢のレンガを積む



准校長 宇都宮 桂

7月6日、サッカー女子ワールドカップの決勝戦が行われ、日本は2-5でアメリカに破れ、惜しくも準優勝に終わりました。しかし、最後まで諦めないで走り続ける選手の姿に多くの元気をもらいました。

4年前の2011年7月17日の決勝戦も、日本とアメリカの戦いでした。当時、日本のアメリカ戦の通算成績は0勝21敗3分でした。前後半終わって1-1。延長前半14分にアメリカに得点を決めら万事休すかと思いましたが、延長後半12分、残り3分で当時のキャプテン

澤穂希選手が起死回生の同点ゴールを決めます。当日は日曜日の早朝でしたが、近隣の家からもゴールの瞬間、歓声が上がったのを覚えています。その後、PK戦で日本が勝利を収めました。2011年と言えば、3月11日に東日本大震災が起き、そこからまだ4ヶ月後の優勝の吉報で、日本全体がとても元気づけられる、勇気がもらえる、復興への希望に向けた優勝でした。

さて、キャプテンの澤穂希選手は「夢は見るものでなくかなえるもの。諦めずに頑張ってきてよかった。」と話しています。彼女の著書「夢をかなえる 思いを実現させるための64のアプローチ」に、今までの選手経験を通して感じた生き方が紹介されています。「夢は絶対に逃げない」「夢を恥ずかしがらない」「過去の自分を大切にする」等いくつかの生き方が書かれていますが、私がすばらしいと思ったのは、「毎日、夢のレンガを積む」です。

夢のレンガとは、自分の足元に自分で積み上げるものです。自分が立っている地面に、一日一段、レンガを積みます。翌日は、その自分で積んだレンガの上に立って、また一段、新しいレンガを積みます。そうして、一段ずつ積み上げていけば、ずっと先にある夢は「高い壁」ではなくて、「階段」になっているということです。壁は一気に乗り越えられなくても、階段だったら上がりそうだと思いますか？という話です。

夢に向かって努力するとき、夢が大きすぎて初めから諦めてしまったり、努力してもなかなか到達できずにくじけてしまったりすることがあります。そこで、昨日より今日。今日より明日。と1段ずつレンガを積んでいくこと＝努力を続けていくと、夢が目の前に現れるということです。私は夢や目標、めあてを立てたとき、すぐに出来ることはなかなかないと思っています…。そこで、うまく出来ないときに「ホラ…やっぱりうまく行かない…。どうやってやろうかなあ～」と心の中で考えます。今日はどうやってレンガを積もうかなと積み方を考えるように……。

しかし、小学生がレンガを一日一段ずつ積むことは難しいこともあります…。そんなときこそ、保護者の応援、激励、見守り等が必要だと思います。夏休みの宿題や自由研究は、レンガを一日一段ずつ積むようなものです。8月下旬になって慌てて取り組むことのないように学校でも指導いたしますが、ご家庭でのご支援を是非お願いいたします。

夏休み明けは8月27日（木）から授業が再開いたします。お子様をはじめご家族みなさんが健康にこの夏を過ごされることを願います。子どもたちが夢にむかってレンガを積めるように期待しながら…。

【学校運営協議会】

6月25日(土)オープンスクール日に、今年度第1回の学校運営協議会が、会長の塚田順一様をはじめ10名の委員の方にお集まりいただき開催されました。学校運営協議会は、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。今後もみなさまの力をお借りしながら学校運営を進めて参ります。